

問1 ヨーロッパ連合（EU）の加盟国において、共通通貨である「ユーロ」を導入することの経済的な利点として、最も適切な説明はどれですか。

（2018年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. ヨーロッパ以外の地域からの輸入品に対して、一律で高い関税をかけることができるようになる。 | 2. 加盟国すべての物価や賃金を完全に同じ金額に固定することで、所得格差を即座に解消できる。 | 3. 加盟国独自の財政政策を廃止し、すべての国の国家予算を一つの機関が管理できるようになる。 | 4. 域内の貿易において両替の手間や為替変動のリスクがなくなり、経済活動がより活発になる。 |
|---|--|--|---|

問2 スペインやイタリアなどの地中海沿岸地域では、夏の乾燥に強いオリーブやブドウなどの樹木作物を栽培し、冬の降水を利用して小麦を栽培する農業が発達している。このような気候条件に適応した農業形態を何というか。

（2021年 沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|---------|-----------|-------|
| 1. 地中海式農業 | 2. 混合農業 | 3. オアシス農業 | 4. 酪農 |
|-----------|---------|-----------|-------|

問3 EU（ヨーロッパ連合）の拡大に伴い、ポーランドなどの国々からドイツやフランスといった国々へ向かう人の流れが活発になりました。このような労働移動を可能にしているEUの基本的な仕組みはどれですか。

（2024年 佐賀県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------|----------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 1. すべての加盟国が同じ時期に大統領を選出する政治制度 | 2. 域内における人、物、資本、サービスの移動の自由 | 3. 域外からの輸入品に対して一律に高い関税を課す制度 | 4. 加盟国すべての公用語を一つに統合する言語政策 |
|------------------------------|----------------------------|-----------------------------|---------------------------|

問4 欧州連合（EU）加盟国間における労働力の移動について、ポーランドやルーマニアなどの東欧諸国からドイツなどの西欧諸国への人口流入が起きている主な理由として、経済的な背景を説明したものを選びなさい。

（2016年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 東欧諸国の経済成長が西欧諸国を追い抜いたことで、西欧諸国の高度な技術者が東欧へ流出するのを防ぐための措置である。 | 2. EU域内では国境を越えた移動の自由が制限されているため、特定の国への移住には政治的な許可が必要となっている。 | 3. 西欧諸国で出生率が急上昇し、労働力が過剰になったため、東欧諸国から安価な労働力を呼び寄せている。 | 4. 1人あたりの国内総生産（GDP）が低い東欧諸国から、所得水準の高い西欧諸国への経済格差を背景とした移動である。 |
|---|---|---|--|

問5 ヨーロッパ北西部は、北海道よりも北の高緯度に位置しているにもかかわらず、冬でも比較的温暖で港が凍らないなどの特徴があります。その理由について説明した文として、最も適切なものはどれですか。

（2021年 山口県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|---|
| 1. 暖流である北大西洋海流の上空を、温かく湿った偏西風が吹いてくるため | 2. 低緯度から吹いてくる季節風が、大西洋の冷たい海水を押し流すため | 3. 寒流であるリマン海流の影響で、年間を通じて安定した気温が保たれるため | 4. スカンジナビア半島周辺を流れる暖流が、一年中乾燥した空気を運んでくるため |
|--------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|---|

問6 1789年に起こった革命をきっかけに、王政から共和制へと大きく変革したヨーロッパ西部の国について、この国が当時発表した『人権宣言』の内容や、現代の科学技術の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれか。

（2019年 東京都公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 世界で初めて社会権を認めた『ワイルムス憲法』を制定し、現代では自動車産業などの重工業が発展している。 | 2. 自由や平等、私有財産の不可侵などを明文化し、現代ではエボラ出血熱などの感染症研究をリードしている。 | 3. イギリスからの独立を目指して『独立宣言』を起草し、現代ではIT産業や宇宙開発の分野で世界をリードしている。 | 4. 国王の権限を制限する『権利の章典』を成立させ、現代では北海油田の開発を中心としたエネルギー産業が盛んである。 |
|---|--|--|---|

問7 欧州連合（EU）が、アメリカ合衆国や中国といった広大な国土を持つ国々に対等、あるいはそれ以上の経済規模を維持できている理由として最も適切な説明を選びなさい。

（2014年 兵庫県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 加盟国間での関税を撤廃し、人・物・資本が自由に移動できる共通市場を形成しているため。 | 2. 加盟国がそれぞれ独自の関税を維持し、域外からの安価な製品の流入を厳しく制限しているため。 | 3. 石炭や鉄鉱石などの豊富な地下資源を、加盟国以外の国々にのみ高値で輸出しているため。 | 4. 域内のすべての国が農業を主な産業とし、食料自給率を極端まで高めているため。 |
|---|---|--|--|

問8 ヨーロッパ連合（EU）加盟国の経済状況を、加盟時期と「一人あたりの国民総所得（GNI）」の観点から説明した文として、最も適切なものはどれですか。

（2020年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. EU加盟の時期が古い国ほど、一人あたりの国民総所得が1万ドルを下回るなど経済水準が低い傾向が顕著である。 | 2. 加盟時期にかかわらず、すべてのEU加盟国は一人あたりの国民総所得が3万ドルを超える高い水準で均一化されている。 | 3. 2004年以降に加盟した東側の諸国は、それ以前から加盟している諸国と比較して、一人あたりの国民総所得が低い傾向にある。 | 4. 加盟時期が2004年以降の国々は、西ヨーロッパの主要国を上回る高い一人あたりの国民総所得を実現している。 |
|---|--|--|---|

問9 欧州連合（EU）加盟国間における労働力や企業の移動について述べた文章として、経済的な背景を踏まえた最も適切なものはどれですか。

（2024年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 域内の経済的格差が完全に解消されたため、現在は賃金格差を理由とした労働者の移動や企業の進出は行われていない。 | 2. 高い賃金を求める労働者が西ヨーロッパから東ヨーロッパへ移動し、安価な労働力を求める企業が東ヨーロッパから西ヨーロッパへ進出している。 | 3. 経済混乱を防ぐため、EUの規定によって東ヨーロッパから西ヨーロッパへの労働者の移動は厳しく制限されている。 | 4. 高い賃金を求める労働者が東ヨーロッパから西ヨーロッパへ移動し、安価な労働力を求める企業が西ヨーロッパから東ヨーロッパへ進出している。 |
|---|---|--|---|

問10 北ヨーロッパのノルウェーなどの地域では、土地利用の統計において耕地面積の割合が低く、森林や牧場・牧草地の割合が非常に高いという特徴があります。このような土地利用が行われる背景にある自然環境と、その環境に適応して発展した農業形態の説明として最も適切なものを選びなさい。

（2026年 兵庫県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 温暖で平坦な土地が広がっているため、小麦の栽培と豚などの家畜の飼育を組み合わせた混合農業が発展した。 | 2. 冷涼な気候のため穀物の栽培が困難であり、牧草地を活用して乳牛を飼育し、乳製品を生産する酪農が発展した。 | 3. 熱帯に近い高温多雨な気候を利用し、輸出を目的として特定の農作物を大規模に栽培するプランテーションが発展した。 | 4. 夏の降水量が極端に少ないため、乾燥に強いオリーブやぶどうを栽培し、羊を放牧する地中海式農業が発展した。 |
|---|--|---|--|

問11 ヨーロッパの地形的特徴について述べた次の文のうち、イタリアの北側に位置するアルプス山脈の説明として最も適切なものはどれですか。

（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|-----------------------------------|--|
| 1. アジア大陸の中央部に位置し、標高8000メートルを超える山々が連なっている。 | 2. プレーートの運動によって地層が押し曲げられて形成された、険しい褶曲山脈である。 | 3. 比較的標高が低く、なだらかな山容が続く安定陸塊の山脈である。 | 4. フランスとスペインの国境を分かち山脈であり、古くから交通の難所として知られる。 |
|---|--|-----------------------------------|--|

問12 ヨーロッパ南部の地中海沿岸地域では、夏に乾燥し、冬に一定の降水がある気候条件を活かした農業が行われています。夏の乾燥に強いオリーブやぶどうなどの果樹を栽培し、冬の降水を利用して小麦を栽培するこの農業形態を何といいいますか。

（2019年 沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|---------|-------|-------|
| 1. 地中海式農業 | 2. 混合農業 | 3. 酪農 | 4. 移牧 |
|-----------|---------|-------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 域内の貿易において両替の手間や為替変動のリスクがなくなり、経済活動がより活発になる。	ユーロの導入以前は国ごとに通貨が異なっていたため、貿易のたびに両替手数料が発生したり、為替レートの変動によって利益が左右されたりする課題がありました。共通通貨の導入は、これらの障壁を取り除き、加盟国間での商品やサービスの取引をより効率的に行うための重要な仕組みです。
問2	答え 1 地中海式農業	地中海沿岸地域は温帯の「地中海性気候」に属し、夏に雨が少なく乾燥し、冬に一定の降水があるのが特徴です。この特殊な気候に合わせ、夏は乾燥に強いオリーブや果物、冬は小麦を育てる形態を地中海式農業と呼びます。オアシス農業は砂漠地帯、混合農業は穀物栽培と家畜の飼育を組み合わせたもので主に西欧で見られ、酪農は牧草地を活かして乳牛を飼育するものです。
問3	答え 2 域内における人、物、資本、サービスの移動の自由	EUは、国境を越えて一つの大きな市場（単一市場）を作ることを目的としており、その根幹として「人・物・資本・サービス」の移動の自由を保障しています。2004年のEU拡大によって東ヨーロッパ諸国がこの仕組みに組み込まれたことで、ビザなしでの就労が可能になり、経済格差がある地域間での労働移動が加速しました。
問4	答え 4 1人あたりの国内総生産（GDP）が低い東欧諸国から、所得水準の高い西欧諸国への経済格差を背景とした移動である。	EU域内では原則として人・もの・資本・サービスの移動が自由化されています。ドイツなどの西欧諸国は1人あたりの国内総生産（GDP）が4万ドルを超える高い水準にありますが、ポーランドやルーマニア、ハンガリーなどの東欧諸国は2万ドル未満にとどまっています。この大きな経済格差により、より高い賃金や良い労働条件を求めて、所得水準の低い国から高い国へと労働力が移動する現象が見られます。
問5	答え 1 暖流である北大西洋海流の上空を、温かく湿った偏西風が吹いてくるため	高緯度にあるヨーロッパ北西部が温暖なのは、低緯度側から流れてくる暖流の北大西洋海流と、その上空を通して大陸へと吹く偏西風の組み合わせによるものです。海流によって温められた空気が偏西風によって運ばれることで、緯度のわりに冬の寒さが厳しくない気候が形成されます。
問6	答え 2 自由や平等、私有財産の不可侵などを明文化し、現代ではエボラ出血熱などの感染症研究をリードしている。	フランスで1789年に発表された人権宣言は、人間の自由と平等、国民主権、私有財産の不可侵などを定めたもので、近代民主主義の基礎となりました。この国は歴史的に微生物学の研究が盛んで、現在はエボラ出血熱をはじめとする危険なウイルスの解析や感染症対策において、世界的に重要な研究拠点となっています。他の選択肢にある『権利の章典』はイギリス、『ワイマール憲法』はドイツ、『独立宣言』はアメリカ合衆国に関連するものです。
問7	答え 1 加盟国間での関税を撤廃し、人・物・資本が自由に移動できる共通市場を形成しているため。	EUの経済規模の背景には「経済統合」があります。加盟国同士で関税をなくし、一つの国であるかのように自由に貿易や経済活動を行える仕組みを作ったことで、域内貿易が活性化しました。その結果、複数の国の合計として、世界最大級の輸出額や高い国内総生産（GDP）を実現しています。
問8	答え 3 2004年以降に加盟した東側の諸国は、それ以前から加盟している諸国と比較して、一人あたりの国民総所得が低い傾向にある。	2004年以降にEUへ加盟した国々は、旧社会主義体制をとっていた東ヨーロッパの諸国が多く、それ以前から加盟していた西ヨーロッパや南ヨーロッパの諸国に比べて経済発展が遅れていました。統計上でも、これら後発の加盟国は一人あたりの国民総所得（GNI）が1万ドル～2万ドル未満、あるいは1万ドル未満にとどまる国が多く、EU内での経済的な格差が明確に表れています。
問9	答え 4 高い賃金を求める労働者が東ヨーロッパから西ヨーロッパへ移動し、安価な労働力を求める企業が西ヨーロッパから東ヨーロッパへ進出している。	欧州連合（EU）では域内の移動の自由が保障されていますが、加盟国間には依然として所得水準の差が存在します。そのため、より高い賃金を得ようとする労働者は所得水準の高い西ヨーロッパ諸国へ向かい、逆に生産コストを抑えたい企業は労働賃金の安い東ヨーロッパ諸国へと工場などを移転させる傾向があります。このように、自由な移動は経済的な因果関係に基づいています。
問10	答え 2 冷涼な気候のため穀物の栽培が困難であり、牧草地を活用して乳牛を飼育し、乳製品を生産する酪農が発展した。	北ヨーロッパは高緯度に位置し、気候が冷涼であるため、小麦などの穀物栽培には適さない土地が多く存在します。そのため、農作物の栽培に代わって、冷涼な環境でも育つ牧草を利用して乳牛を飼育し、牛乳、チーズ、バターなどの乳製品を生産する「酪農」が盛んになりました。混合農業は主にドイツやフランスなどのヨーロッパ中部、地中海式農業はイタリアやスペインなどのヨーロッパ南部で見られる形態です。
問11	答え 2 プレートの運動によって地層が押し曲げられて形成された、険しい褶曲山脈である。	アルプス山脈は、アフリカプレートとユーラシアプレートが衝突する際の強い圧力によって地層が波状に押し曲げられ、隆起してできた「褶曲（しゅうきよく）山脈」です。このように、比較的新しい時代に形成された高くて険しい山脈が連なっている地域を新期造山帯と呼びます。選択肢にあるピレネー山脈（フランス・スペイン国境）やヒマラヤ山脈（アジア）との位置関係の違いを把握しておくことが重要です。
問12	答え 1 地中海式農業	地中海沿岸の地域では、夏季に雨が少なく乾燥する「地中海性気候」が広がっています。このため、乾燥に強いオリーブやコルクがし、ぶどう、オレンジなどの果樹栽培が発達しました。一方で、比較的雨の多い冬季には小麦を栽培するという、気候の特色に合わせた合理的な土地利用が行われています。